

令和 6 年度第 4 回西淀川区区政会議

1 開催日時：令和 7 年 1 月 30 日（木）午後 6 時 32 分～午後 7 時 20 分

2 開催場所：西淀川区役所 5 階 会議室

3 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50音順）

麻井、伊関、今前田、浦中、大垣、大西、岡崎、岡本、木村、倉方、竹内、田中、
寺脇、西垣、平井、平林、藤江、藤波、松岡、矢口、吉見

（事務局：西淀川区役所）

松田区長、楯川副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、篠原保健福祉課長、
山城生活支援担当課長、横内こども福祉担当課長、足立保健主幹

（市会議員）

佐々木哲夫市会議員、山田かな市会議員、清水こう市会議員

（府議会議員）

中川誠太府議会議員

4 議題

- （１）西淀川区将来ビジョン2025（案）にかかるパブリック・コメントの結果及び西淀川区将来ビジョン2025の策定について
- （２）令和 7 年度西淀川区運営方針（案）について
- （３）令和 7 年度西淀川区予算編成状況について
- （４）その他

5 議事内容

○大垣議長

こんばんは。遅明けながら、明けましておめでとうございます。もう最終ぐらいの

挨拶かなと思っておりますけど、よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまより区政会議を始めさせていただきます。令和6年度第4回区政会議を開催いたしますので、事務局から本日の議事進行の説明、よろしくお願いいたします。

○西尾政策共創課長

皆さん、こんばんは。本日の会議は現時点でオンライン1名を含めて20名の参加であり、定員27名の過半数を超えていることから、会議が成立していることを確認しております。

次に、議事進行についてですが、議題は（1）西淀川区将来ビジョン2025（案）にかかるパブリック・コメントの結果及び西淀川区将来ビジョン2025の策定について、（2）令和7年度西淀川区運営方針（案）について、（3）令和7年度西淀川区予算編成状況について、（4）その他でございます。

それでは、配付資料の確認をさせていただきたいと思います。

まず1枚目、次第がございます。続きまして、配席表と委員名簿でございます。続きまして、資料1「西淀川区将来ビジョン2025（案）にかかるパブリック・コメント手続の実施結果について（案）」です。そして、資料2「西淀川区将来ビジョン2025（最終案）」でございます。そして、資料3「令和7年度西淀川区運営方針（案）」でございます。そして、資料4としまして「令和7年度の予算事業一覧の公表について」と、最後、資料5「区政会議や区の実施状況に対するアンケート」でございます。

資料については以上でございます。何か不足等ございましたら、後ほど挙手等をいただきまして事務局に知らせていただけますでしょうか。

なお、この区政会議の実施状況についてはホームページや広報紙などで報告いたします。様子がより伝わるように写真を掲載いたしますので、会議中、写真を撮らせていただきます。また、会議の様子を西淀川区役所YouTubeチャンネルでライブ配信しております。以上、どうぞよろしくお願いいたします。

議長、お願いいたします。

○大垣議長

それでは、始めさせていただきます。議事に先立ちまして、区長からご挨拶をよろしくお願いいたします。

○松田区長

皆様、こんばんは。区長の松田でございます。非常にお忙しい中、それから寒くなってきましたけど、お寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。このタイミングになりましたけども、本年もよろしくお願いいたします。

年明け1月13日には「二十歳のつどい」がありまして、今年、西淀川区で二十歳を迎えられた方が1,023名と記憶しておりますけど、そのうち650名ぐらいの方が式典に足をお運びいただきました。たくさんの若い方々の姿を見て、改めて明るい未来が拓けてきたというか身の引き締まる思いで、そういう心機一転の一日でございました。

今日は、昨年度の議論等々も含めて来年度のお話になるかと思えますけども、いつものディスカッション形式とは趣が違って、後半はちょっとお聞きいただくという形になろうかと思いますが、お付き合いのほどよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

それでは、議題に進んでいきたいと思えます。事務局から説明をお願いいたします。

○西尾政策共創課長

それでは、事務局から説明させていただきます。

まず、資料1「西淀川区将来ビジョン2025（案）にかかるパブリック・コメント手続の実施結果について（案）」をご覧くださいいただけますでしょうか。

これまで区政会議においてご議論いただきました区将来ビジョンについて、このたびパブリック・コメントを実施いたしました。昨年12月6日から本年1月7日まで受

け付けし、8件の意見をいただいたところです。主なご意見をご紹介しますいただきます。

まず、1番目でございます。『②健康で安心・安全な地域づくりの施策と主な取組に（防災編）（防犯・安全編）（健康編）はありますが、なぜ（福祉編）はないのですか。別途「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」が策定されていますが、区の将来ビジョンなので、住民の支え合い・助け合い、顔の見える関係づくりなどの「地域福祉」の基本的な取組は「安心・安全な地域づくり」に不可欠なものと思います。』というご意見をいただきました。

もちろん、地域福祉計画については大事なことでございますので、西淀川区の考え方としましては、いただいたご意見を踏まえて「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」により、地域福祉の推進に向けた取組を進める旨を将来ビジョンに追記させていただきたいと考えております。

そのほか、2番以降も官民連携に関することや、アートや音楽などの文化活動に関すること、そして、自転車活用等様々なご意見をいただいておりますので、皆さん、ご一読いただきますようお願いいたします。いただいたご意見につきましては今後、施策の参考にさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

これがパブリック・コメントの実施結果についてでございます。

続いて、その実施結果を受けまして、どのように将来ビジョンを変更させていただいたかをご説明させていただきます。資料2をご覧くださいませでしょうか。「西淀川区の将来ビジョン2025（最終案）」でございます。

6ページをご覧くださいませでしょうか。6ページに先ほどの意見を受けまして、「未来に向けた5つの柱と基本方針」というところに、5つの柱と基本方針は説明させていただきましたが、そこに「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」により地域福祉の推進に向けた取組も進めていきますということを、将来ビジョンに追記させていただきたいと考えております。

なお、今回追加しました地域福祉計画の表紙ですけれども、令和7年度からの新たな西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画の新しい表紙ができれば、その表紙に変えさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、19ページをご覧くださいませでしょうか。

⑤D Xの推進による市民Q o L（生活の質）向上の項目でございます。ここの現状と課題の1行目ですね。少子高齢化の進行や外国人住民数の増加、国籍の多様化などを踏まえ、情報の多元化やD Xの推進による区民への情報提供の向上、利便性向上を図る必要があるということで、「少子高齢化の進行や外国人住民数の増加」という表現を追記させていただきました。

それに伴い、施策の1行目ですね。「多様化に対応した効果的な情報発信等」とさせていただいたのと、次の20ページですね。20ページの主な取組のところの1行目でございます。「L I N E、Y o u T u b eなどのSNSと、区役所ホームページ等のウェブサイトを組み合わせて情報発信」ということで、多様な情報を発信していこうということを追記させていただいたところでございます。

区の将来ビジョンの変更点については、以上でございます。議長、よろしくお願いいたします。

○大垣議長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問がある方は挙手をお願いいたします。その際、すみませんがお名前もおっしゃってください。よろしくお願いいたします。

何でも結構ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

ないようですので、次へ行かせていただきます。

事務局から、議題の説明をよろしくお願いいたします。

○西尾政策共創課長

続きまして、資料3をご覧くださいませでしょうか。「令和7年度西淀川区運営方針（案）」でございます。

「令和7年度の西淀川区運営方針（案）」につきましては、これまでご議論いただきまして、先ほど説明させていただきました区将来ビジョン2025の最終案を基に作成させていただいております。西淀川区将来ビジョン2025の最終案がおおむね4年間の目標でございまして、運営方針が単年度の目標ということでございます。

それでは、資料3「令和7年度西淀川区運営方針（案）」の1ページ目をご覧くださいいただけますでしょうか。

目標につきましては、「活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち 高い防災力を備え、さまざまな文化でにぎわう西淀川」ということで、これは区の将来ビジョンと同じ文言を入れさせていただいています。

使命としましては、「地域のつながりを強化し、高い防災力を備え、様々な文化が調和し、産業が栄え次世代に継承されていくまちをめざし、区民とともに活力あるまちづくりを進める。」ということを使命とさせていただいております。

そして、令和7年度の所属運営の基本的な考え方でございます。これは、将来ビジョンの基本的な考え方と5つの柱です。『「官民共創の推進」と「SDGs達成の推進」を推進するとともに、区民や事業者と課題を共有・連携しながら、次の5つの課題に重点的に取り組む。』ということで、「地域コミュニティの活性化」「健康で安心・安全な地域づくり」「未来を担う人材の育成」そして「魅力と活力あふれるまちづくり」「DXの推進による市民QoL（生活の質）向上」という形で、これも区の将来ビジョンと同じ柱にさせていただいております。

内容につきましては、これまでも意見をいただきました区将来ビジョンに基づき策定させていただいております。各経営課題については、主な戦略、課題解決の方策を中心にご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、経営課題1「地域コミュニティの活性化」でございます。主な戦略というところでございます。こういったことをしていくかということでございますが、「新たに開発される集合住宅の開発事業者への町会加入に向けた働きかけを行う。」とか

「町会加入の申込みがオンラインでできる環境を整備する。」などをさせていただきたいと考えております。また、『「西淀川ものづくりまつり」や「区内企業と日本語学校との意見交換会」の開催等により、製造業の操業環境を整備する。』ということを考えております。

続きまして、次のページ、経営課題2に移りたいと思います。「健康で安心・安全な地域づくり」ということで、これにつきましても、主な戦略のところをご説明させていただきます。

例えば、防災で言いますと「防災リーダーなど防災人材の育成・普及を行うとともに、防災マップを多言語化することにより外国人を含めて災害時に必要な情報を発信する。」ということですね。あとは、「災害時の避難行動支援、個別避難計画の作成を推進する。」とさせていただいております。健康で言いますと、「生活習慣病やがんに関する正しい情報を発信する。」ことや、「特定健診、がん検診の受診勧奨を強化する。」というようなことで健康を推進していきたいと考えております。福祉につきましては、『地域福祉計画「西淀川ささえあい♡（あい）プラン」の具体的な取組を進めていくとともに、地域における見守り活動を支援する。』ということとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、経営課題3「未来を担う人材の育成」ということで、ここも主な戦略、課題解決の方策をご説明させていただきます。

『主に就学前の子どもと地域の子育て支援機関をつなぐ「にしよどこそだてほっとえーる」において、子育て支援施設のイベント、各種サービスや情報を知らせて、地域ともっとつながる機会を提供し、子育て層の孤独・孤立を防ぐ。』ということですね。また、外国籍の住民が増えていることもございますので、『多言語化を図っている子育てマップの案内や「ほっとえーる」のグーグル翻訳機能の活用を促す等、多言語化対応を図る。』というようなこと。そして、「外国籍住民が気軽に交流できる場（にほんごカフェ）を提供し、生活に関する適切な情報発信を行うとともに、外国に

つながる市民が活躍できる多文化共生の社会づくりを支援する。」ということを考えております。

続きまして、経営課題4でございます。「魅力と活力あふれるまちづくり」ということで、主な戦略でございます。

「清掃を通じて区民自らの美化意識を醸成できる機会を創出する。」ということで、まちをきれいに、住みたいまちになるよう努めていきたいと考えております。また、「企業・教育機関等との連携協定の締結及び共創に関する提案募集により、官民共創を推進し地域課題の解決」だけではなくて、「まちの魅力向上」も図ってまいりたいと考えております。

続きまして、経営課題5「D Xの推進による市民Q o L（生活の質）向上」でございます。

主な戦略としましては、「L I N E、Y o u T u b eなどのS N Sと区役所ホームページ等のウェブサイトを組み合わせて情報の多元化を図り、多様化に対応した効果的な情報発信を行う。」、また、デジタルが苦手な方もおられると思いますので、「連携事業者と協力してスマホ講習会の継続開催によりデジタルディバイドの解消に向けた取組」を進めさせていただきます。さらに、「区役所にコンビニ交付ができる機械を置いて操作のお手伝いをするとともに、やさしい日本語などによる広報により、コンビニ交付の普及促進を図る。」ということを考えております。

以上が5本の柱での主な施策でございます。この運営方針は、施策の選択と集中を示す方針として策定するものであり、運営方針に掲載がないからといって実施しないということではございませんので、これまで同様、様々な事業を実施して活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまちを目指してまいりたいと考えております。

説明については、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○大垣議長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問がありましたら挙手をお願いいたします。

○大西委員

大西です。よろしくお願いします。

2つ気になる点がありまして。経営課題1で、町会の加入率を促進するというふうに記載いただいている部分ですけれども、この町会の加入率をどんどん上げて町会に入っていただくというのはとてもすばらしいことだと思うんですが、各町会、地域活動協議会等も「若手の人材がいなくて活動がそもそも大変だ」というお声もたくさん上がっている中、加入率だけを上げてしまっても受皿のほうは大丈夫なのかなと気になったところではあります。

2つ目、経営課題3「未来を担う人材の育成」の部分ですけれども、もちろん、先ほどおっしゃっていただいたとおり、記載がないからといってしないというわけではないというところは重々承知ですけれども、やはり子育て世帯ですとか外国の方向けの施策というところがどうしても重点を置かれているのではないかなと。中高生に向けての施策が何かないのかなとちょっと不安を感じる部分はあるかなと思いました。

以上です。

○大垣議長

ありがとうございました。すみませんが、これらの説明をよろしくお願いします。

○西尾政策共創課長

近藤課長、よろしいですか。

○近藤地域支援課長

ご質問ありがとうございます。地域支援課長の近藤と言います。よろしくお願いいたします。

町会加入率のお話がありましたので、私から説明させていただきたいと思います。

委員ご指摘のように、町会加入率を上げるだけではなかなか地域の活性化は生まれてこないかなと、私ども思っております。ただ、若い世代、現役世代の方がなかなか加入していただけないとか、町会の活動を知っていただけないといけないということ

で、西淀川区では区のアクションプランというのを設けまして、その中でD X化ということで、オンラインで町会加入していただくということで、そのシステムを組み始めております。できれば、今年度末までにそういった取組を各地域の方々に周知しながら、区役所としても少しでも加入に関する壁といいますか、そういったところを低くしていきたいなというところで今進めております。

ですので、まずは町会加入をしていただいた上で、その後、活動についてご説明をさせていただくということで、地域活動に入っていただきたいなと今思っているところでございます。

○大垣議長

よろしいでしょうか。

○大西委員

ありがとうございます。

○横内こども福祉担当課長

ご質問、ありがとうございます。こども福祉担当課長の横内でございます。

今のご指摘どおり、書いていないからやらないということではないですけれども、確かに中高生、不登校の子どもも最大の数字を表していますし、大阪市はこれまで区役所の中にもこどもサポートネットとかスクールソーシャルワーカー、学校ではスクールカウンセラーなどとシームレスな連携を取り、地域で活動いただいているこども食堂との連携で、総合的に子どもを中心に捉えてやっていこうという姿勢に変わりはありません。

また、ヤングケアラーにつきましても、今後、国が法制化することによって市も足並みをそろえて何を支援できるかというのは区と府と一丸となって取り組みたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○大垣議長

ありがとうございました。ほかに、おられましょうか。

ありがとうございました。それでは、次に進めさせていただきます。事務局から次の議題の説明、お願いいたします。

○西尾政策共創課長

続きまして、令和7年度の西淀川区予算編成状況についてでございます。お手元の資料4「令和7年度の予算事業一覧（12月2日要求段階）の公表について」でございます。

これは、今、令和7年度の予算編成途中の昨年12月2日時点での財政局への予算要求段階の資料でございます。この資料につきましては、区のホームページにおいて公表させていただいているところでございます。

なお、予算に関する今後の予定としましては、来月から大阪市会の定例会で令和7年度予算に関して審議され、3月に本会議で可決する予定となっておりますので、よろしくをお願いいたします。

予算編成状況についての説明は以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

それでは、私からコメントです。

令和7年度の予算案と行事の予定ということで言わせていただいておりますけど、これも区政会議で決めてもらいまして、その方針でまた前に進めていこうと思っております。その中で、皆さんからまたいろんな意見があると思いますが、全体で協議しながら前へ進めていって、令和7年度を進めさせていただけるようになっていきたいなと思っております。令和7年度は区制100周年記念というのが来ますので、その中で動きということで全部が引っかかってくると思いますが。

それともう一つ、西淀川区は外国人の就労が多いということで、それに対して皆さんがお世話していただけるような形の下で、良いムードで動いているのではないかなと思っておりますけど、その中で、また一つ一つのイベントの中に入れていってあげ

るような形を取っていただければいいけど、まだ、ちょっとその辺がまだまだかなと思います。これからまたそういうのも、一つ前へ進めていただければいいかなと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、ご出席いただいております区選出の市会議員、府会議員の皆様方が来られておりますので、意見があれば聞かせてほしいかなと思います。では、市会議員の佐々木議員からお願いいたします。

○佐々木市会議員

失礼いたします。先ほど中高生のことについてということであつたんですけれども、大阪市内で一番課題になっていますのが、中学生の不登校が非常に多いということです。府でもクラスで平均2.4人ぐらいいるということなんですけれども、その子の進路ですね、中学校で不登校の子がその後どこに行ったのかというと、高校に行ってしまうと、その子が高校に行っているのかどうか、どうしているのかというのが全然見えなくなってしまうというのが課題でありまして、市会でもそれを取り上げたことがあります。

不登校で高校に行き直すという場合に、必ず一度、中学校を通して高校に進学の資料も送りますので、まずは中学校で確認できるのではないかとこのところなんです。ただ、やっぱりその中学校と地域や区役所が連携を取って、進路が明らかになってないとか、高校に進学できずに地域にいる子がどのぐらいいるかというのもしっかり把握していきながら、そういう子たちの進路や、ひきこもり対策のものもありますので、そういうのとつながっていくということも大事じゃないかなと感じました。

中学校を卒業したその後と、うまく地域と結びついていくこと。ひきこもりになってしまう子も多いですし、今は高校の形もいろいろで定時制の学校だけでなく通信制の学校などがものすごく増えてきて、そういう子どもたちもたくさんいるので。その子らの進路保障や地域の見守りというのを大切にしていくことで、将来、社会の担い手というのを大切に増やしていくことはすごく大事なことはないかなと。それが区などで丁寧に見ていく大切な支援じゃないかなと感じています。

以上です。

○大垣議長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、今回初めての清水議員から、よろしくお願いします。

○清水市会議員

ご紹介いただきました、初めて参加させていただきます清水と申します。

私は2点、個人的に思ったのは、まず、外国人住民が増えているというところで、大阪市は今、全体的にこれから関西万博、そしてI Rという中で、外国人住民の数は必ず増えてくると私は思っていて。今の予算で、例えば窓口など、今のままだと時間がかかってしまうし区役所の負担が増えてしまう中で、もう少し市として外国人住民が増えると分かっている中で、何かそこに予算をプラスで付け加えるのか。窓口のサービス、DXの推進も必要だとはもちろん思うんですけども、それ以外にも、この地域に入ってくるというところで何か市としての新しいルール、区役所としての受入態勢というのを、皆さんが安心して一緒に暮らしていけるような取組を、私どももしっかり進めていきたいなと思いました。

あと、防災のことですけれども、大阪府・大阪市・国でも、西淀川区は特にですけれども、様々な取組を進めて、防潮堤だとか本当に様々な対策を進めている中で、でもその中でも一番大切なのが、もう少し身近に感じていただけるような防災というものは、地震が来てそのときにいろんなところで大きな取組、橋から津波が流れてくるから、そのときの防止とかそういうのもすごく大切ですけども、やっぱり自分自身の体は自分で守るというところで、もう少し防災というのを西淀川区においては特に身近に感じていただけるような、常に隣り合わせじゃないですけども、もちろん地震が来ないというのが一番、本当にそれが願うことですけども。来たときの命を救うというための対策としても、何か私どもでもきちんとしながら。そして、区と協働で防災を身近に感じられるようなものをつくっていききたいなと思いました。

今日はすごく勉強になりました。ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございました。続きまして、府会議員の中川議員からお願いいたします。

○中川府議会議員

夜遅くまで皆さん、お疲れさまです。ありがとうございます。今回、案が示されたということで、いよいよ来年度、区政委員の皆さんの案が実施されるのかなと思います。ぜひ、本当にこういった様々なことをしっかり実施していただきたいなと思いますので、また、皆さんのお声、ご提案などがございましたら、ぜひよろしくお願いたします。

私も1点だけ、区役所の皆さんを含めてお伝えしたいなと個人的に思っているのが、区政会議などでも毎回お話しさせていただいていたんですけど、区の基金というのは、開設されて6年目ぐらいになっていると思います。基金が開設されてから一時は500万円以上ある基金が寄附をされているという状況でありましたけども、それ以降、行政側の区の発信が弱いのか、何か原因がよく分かりませんが、だんだん減ってきている状況でありました。今、ホームページを見させていただいても、昨年度末まで令和6年の12月末時点では45万円ぐらいの寄附になっていたと。これを考えると、皆さんに様々な案を出していただいて実施をしていこうという状況の中でも、この寄附の金額を見て、本当に、皆さんのこの案をしっかりと実行するためにはお金がかかることも正直、中には出てくる場合もあると思います。その中で、毎回言っているのですが、区役所の皆さんの発信というのが非常に大事になってくると思います。今、45万という数字を見てどう感じるのかというところを考えれば、私の中ではすごくショックだなということを思います。

その中で、様々な要因があるのかなと考えると、例えば、ホームページで45万の使い道の用途を見たら、今年度252万4,000円ぐらいのお金を、皆さんの寄附のお金を使わせていただくというふうに書いているのですが、どんな状況に使うのかを見ると、

別に詳しく書いているわけじゃなくて、今までの緑陰道路への活用しか書いてないとかですね。私が言いたいのは、寄附を頂いている皆さんがいらっしゃって、その方にしっかりと寄附してよかったなと思っていただけるような、そういった編集の仕方といますか、情報発信の仕方を区役所としてしっかりとやっていただかないと、この45万円以下にこれからもなってくるのではないかなと思います。

何が言いたいかというと、これから区政委員の皆さんのアイデアをこれ以上にますます進めていこうとなれば、この基金のお金というのは非常に大事になってくると思っています。区の予算は限られていると思いますので、限られた予算の中でやるのは別に、この基金をしっかりと活用させていただく。さらに、それをしっかりと情報発信するというのを、かれこれ5回、6回ぐらいお話しさせていただいているのですが、なかなか改善が見られないという状況にあるので。本当に皆さんのご厚意で遅くまでアイデアを出していただいてやっている分は、しっかりと実行していきたいなということを踏まえれば、もうちょっとこの辺をしっかりと改善していただきたいなと思いますので、それを最後にしてご挨拶に代えさせていただきます。

本日は、皆さん、夜遅くまでお疲れさまでした。ありがとうございました。

○大垣議長

ありがとうございます。議員の方々が言われまして、数字の方も言われたということとはいいことかなと思っています。我々もまた、数字的なものもこれからは行政のに言っていきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

続きまして、副区長から、本日の議事に対しての総括的コメントをよろしくお願いします。

○楯川副区長

皆さん、お疲れのところ、遅くまで長時間ありがとうございました。

本日の議事につきましては事務局から説明がありましたけれども、向こう4年間の区の目指すものと、その実現に向けてどういった施策をしていくかといった中長期

的なビジョンとしての、将来ビジョンです。運営方針は、それに基づく単年度のアクションプランという位置づけになっております。もちろん、運営方針は今年度作成していくということで、将来ビジョンの5つの柱に沿って立てております。

特に運営方針は細々したことまでいろいろ情報が入っているかと思いますが、今後、区政を進める上で4つの大きな視点というのを大事にしたいなと思っております。1つ目は、前回の区政会議で、今も出ていましたけど、外国籍住民のお話、多文化共生というところは、これはもう待ったなしという状況かなと思っております。前回いろいろお話が出ましたので調べてみましたところ、西淀川区の人口は9万6,500人おられると。外国籍住民が6,100人ぐらい。この6,100人がどれぐらいの規模かというのを近似値で探してみますと、現在の西淀川区の小中学生の数とほぼ一緒というような状況になっています。令和5年度の数字で言いますと、西淀川区の人口に対する外国籍住民の比率というのは、24区中8番目に多いという状況になっています。

運営方針で5つの柱に分けていますが、そこはしっかり横串を挿してといいますか、いろんな施策でいろんな場面で多文化共生という視点は持っていかなければならないと思っております。

もう一つが、防災力の向上。先ほどもありましたけども、今年度、ジュニア防災リーダーというのを創設しまして、いろんな民間企業と連携協定を締結したということで進めておりますが、災害はいつ起きるか分からないということもありますので、防災力の向上というのはこちらも引き続き、しっかり取り組んでいきたい課題です。

もう一つが、弱者への支援ということになります。これは、子ども、高齢者の方、障がい者の方、あるいは重篤な持病を持っておられる方、日常生活の時点から災害発生時、いろんな想定される場面で常に頭に置きながら施策というのを考えていきたいなと思っております。

最後になりますが、やっぱり全ての施策の礎となる地域コミュニティの活性化というのが重要と考えております。区役所がいろいろやりますよと旗を振っても、先ほ

どもありましたけども、お金もそれほどないですし、人も潤沢にいるわけじゃないので、本日来られている委員の皆様のように、それぞれの地域でいろんな分野で活動・活躍されている方々の協力なしでは成り立たないと思っております。そこに多くの区民を巻き込んでいくためには、地域コミュニティの活性化が不可欠と考えております。そういった点を重視しながら進めてまいりたいと思っております。

今日いただいた案へのご意見を踏まえ最終調整した上で、2月中旬にホームページへ掲載予定となっておりますので、またご確認いただけたらと思います。

本日は、どうもありがとうございました。

○大垣議長

ありがとうございました。その他、事務局からのご案内をお願いいたします。

○西尾政策共創課長

それでは、事務局から一つ、資料5を見ていただけますでしょうか。こちらはアンケートになっています。「区政会議や区の実施に関するアンケート」を本日書いていただいて、お帰りの際に出口にてアンケート回収ボックスに回収いたしますので、すみませんがアンケートのご記入をよろしくお願いいたします。

それと、1枚目の次第にも書かせていただいておりますけども、次回の区政会議は令和7年6月26日を予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議長、お願いいたします。

○大垣議長

ありがとうございます。それでは、最後に、副議長から感想とまとめ、お願いいたします。

○矢口副議長

矢口です。よろしくお願いいたします。本日、西淀川区将来ビジョン最終案となりました。皆様それぞれの目線からお話しいただき、活発な話し合いの結果だと思います。西淀川区について考えたものがこれから未来へとつながるよう、これからは皆様、ご

尽力のほう、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

令和7年度は区制100周年が来ますので、行政と民間でみんな合わせてこの1年を盛り上げていこうかなと思っております。大体のアウトラインがもう出来上がっておりますので、みんなでこの区制100周年のお祝いをすればいいかなと思っております。

こう言っている間に、議員の方が来てくださりました。座って一呼吸ついてからお話いただけたらと思っております。

5月に入りましたら、我々も前へ進めていくような形で旗を上げて、行政と我々と一緒にやっていこうと思っております。

それでは、すみませんけども、市会の山田議員からよろしくお願いします。

○山田市会議員

皆さん、こんばんは。すみません、業務が立て込んでおりまして遅くなって大変失礼いたしました。

この寒い中でも皆さんがこうやって一生懸命やってくださっていると思うと、やっぱり一緒に西淀川区を盛り上げたいなという気持ちに本当になります。今年100周年ですし。ごめんなさい、内容の方に全然参加してなくて、その件に関してはコメントは控えさせていただきますが、本当に寒い中、これだけたくさんの方が集まっていたいて一緒に西淀川区を、やっぱり盛り上げよう、何とかしようという方たちが集まっていると思うだけでも、私たちも頑張れます。ぜひ、今年、共に西淀川区を盛り上げていきましょう。

すみません、こんな来て早々、ご挨拶で大変失礼いたしました。ありがとうございます。

○大垣議長

ありがとうございました。

それでは、議事も終わりましたので、ここで終わりたいかなと思います。本当にどうも、議論ありがとうございました。それでは、終わらせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）